

肥前 無限大

学校目標:「志と誇りを胸に、夢に挑戦し続ける生徒の育成」

【第18号】令和7年2月28日発行
発行者 唐津市立肥前中学校
文責 木村 信人



本校ホームページQRコード

<https://www.education.saga.jp/hp/hizen-j/>

2年生 修学旅行の事前学習②(環境・人権学習)を行いました

2月25日(火)に音楽室において、前回の平和学習(1/21)に引き続き、堀田 雄二先生をお招きして、「修学旅行事前学習(環境・人権学習)」を行いました。水俣病の公害問題について、原因や症状、差別に至るまで、しっかりと講話をしていただきました。子どもたちは、堀田先生の話に真剣に耳を傾けていました。下に生徒たちの感想を紹介します。



- ・発病した病気が治らないということは、どれほど苦しくて、水俣病で辛い思いをするのか、そのことを考えると、とても恐ろしく感じ、このようなことは二度とあってはならないと思いました。
- ・水俣病の患者さんたちが水俣病だけでなく、国民からの差別などにも苦しめられていたことは知らなかったので、悲しくなりました。
- ・病気になりたかった訳じゃないのに、死ぬまで一生一緒(病気)という状況になってしまった人が沢山いることを忘れないようにします。
- ・堀田先生のお話を心にとめて、水俣に行って、さらに学んできたいと思います。
- ・とても聞きやすく、まるでそこにいるような錯覚になり、勉強になりました。これらを踏まえて、修学旅行でも水俣病や戦争のことについて勉強しようと思います。
- ・今回の講話で水俣病のことをより深く知り、この知識が修学旅行で生かせるようにしようと思います。
- ・水俣病を通して学んでほしい4つの柱をしっかりと心に刻んで、現地に行きたいと思います。
- ・有機水銀がどれほど恐ろしいかを知ることができました。修学旅行でより深く学習できそうです。

全校生徒「ピンクシャツデー」でいじめ反対!

2月26日(水)生徒会の生活体育実践部が企画した「ピンクシャツデー」に取り組みました。「ピンクシャツデー」とは、カナダの高校生が始めた「いじめ反対」の運動です。ピンクのポロシャツを着て登校した男子中学生がいじめにあったことを知った2人の高校生が、「みんなでピンクのシャツを着よう」と呼びかけ、多くの生徒たちが賛同。学校中がピンク色になり、これによって、いじめがなくなったという実話が運動の始まりです。

今では世界中に賛同者が現れ、世界的なキャンペーンの一つになっています。「いじめ反対」の意思表示として、「ピンクシャツデー」には、ピンクのシャツを着たり、ピンク色のものを身につけたりします。本校では、シャツの代わりに、ピンクのマスクやピンクのリボンを付けて、「いじめ反対」の意思表示をしました。



1年生 ビジネスマナー講座が開かれました

2月26日(水)1年生が、よりよい人間関係を築くことや社会生活に必要なマナー(礼儀)や仕事をする上で大切となる資質・考え方・能力を学ぶことを目的として、マナー検定(肥前版)を行います。その学習の一環として、唐津ビジネスカレッジの宮川登美子先生をお呼びして、マナー講座が開かれました。子どもたちは、マナー(礼儀)の大切さや挨拶・お辞儀の練習など、1時間の講義を真剣に、そして、楽しみながら受けていました。

